



東京都立鹿本学園 学校通信 令和7年3月18日号

学びの虹

東京都立鹿本学園

校長 堀江 浩子

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

一年間 ありがとうございます。

「三人のレンガ職人」の続き・・・

「学びの虹」の2月号の続き。三人のレンガ職人の3人目（「皆が喜ぶ教会の大聖堂をつくっているんだ。この仕事に就けて光栄だよ」）の10年後です。その職人は、現場監督となり、優秀な職人を育成し、出来上がった大聖堂には、その職人の名前がつけられたそうです。仕事に向かう姿勢（気持ち＝みんなのために）と感謝の心を持ち続けることの大切さを教わった寓話でした。

さて、一年間の本校の教育活動に対する学校評価についてです。昨年度よりも保護者並びに教職員も評価が良好でした。その分次年度も期待に応えられる学校でありたいと考えます。先日の保護者会でも話しましたが、次年度は以下の4点を重点的に取り組んでまいります。

- ① 子供たちの特性や実態に応じて、言葉がけ等のかかわり方を一層高めていきます。
- ② デジタルを活用することを「目的」にするのではなく、「手段」として学習の中で効果的なデジタルの活用に努めていきます。なお、アナログ（プリントや教材等）も学習グループや個に応じて、バランスよく活用していきます。
- ③ 災害時に対する体制や施設面・物品等の充実を図っていきます。
- ④ 学校の教育活動全般について情報の発信等を強化していきます。

また、東京都として「働き方改革」の一層の推進、特に**在校時間（勤務時間）の軽減**については、確実に行っていきたいと考えますので、御理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

学校評価の記述の中で、「感謝の言葉」が多くありました。本当に嬉しかったです。「学校が楽しくなった」という言葉も励みになりました。保護者の皆様は、様々な思いに至っても最後には学校を受け止めていただいたと考えます。学校からすれば、ありがたいことです。保護者に受け止めていただいたことに甘んじることなく、次年度も誠実に教育活動に努めたいと考えます。一年間ありがとうございました。

最後に卒業生のみなさん。卒業おめでとうございます。鹿本学園から新しい世界へ出発する子供たち。本校に入学し新たなスタートを迎える子供たち。そして、新しい学年へ進む子供たち。皆さんは、一年間 自分らしくがんばりました。心からありがとう。

「ありがとう」

しょうじ たけし

ありがとう
ありがとう

いえば とっても いいきもち

いわれりゃ もっと いいきもち

ありがとう
ありがとう

鹿本学園校長 堀江 浩子

両部門間交流について

今年度の両部門間交流は、「授業交流」と「ボッチャ交流」を各学習グループ、学級が選択できるようにして実施しました。

◎授業交流

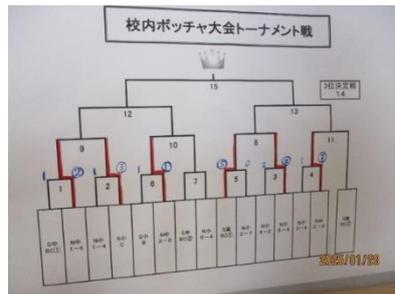
交流をする学習グループや学級と日時・内容を決めて交流をしました。自己紹介、歌やダンス・ゲームなどを行って交流を深めました。交流して数日後、「先輩と金魚すくいができてうれしかったです。」「また一緒にサイコロゲームしたいです。」と手紙でお礼の気持ちを伝えるなど、新しいつながりが見られるようになってきました。

◎ボッチャ交流

ボッチャ交流は各学部から選抜した15チームでトーナメント戦を行いました。各チーム練習を重ね、作戦を考えてジャックボールに向かってボールを投球しました。試合の結果はお昼の放送で生徒が原稿を読み上げました。S部門の高等部の生徒会メンバーやN部門の中学部3年生が放送を担当するなど、学校全体で盛り上がりました。

両部門間交流をとおして、お互いの良さを知ることができ、貴重な時間になりました。

部門間交流担当 武石真・千葉麻衣・篠原徹



芸術鑑賞教室

2月25日(火)にファンクションの皆さんをお迎えして芸術鑑賞会を行いました。ファンクションは、打楽器だけで構成されたパフォーマンス集団です。シンバルやドラム、木琴といったポピュラーな楽器からアフリカの楽器であるジャンベ、一見楽器には見えないバケツなどを使った息の合った演奏は圧巻でした。

最後には児童、生徒も一緒にリズムに乗ってみんなでノリノリに！！音楽の楽しさを全身で感じることができ、いつもの授業とは違った特別な時間になりました。ファンクションの皆さん、素晴らしいショーをありがとうございました。



担当：教務部全校行事 大原勇人